

堺エコライフポイント事業の総括

目次

(1) 堺エコライフポイント事業の実績	P1
(2) 堺エコライフポイント事業による行動変容効果	P5
(3) 環境行動ごとの分析結果	P9

(1) 堺エコライフポイント事業の実績

【①各年度の実績まとめ】

項目	令和7年度 目標値	令和7年度 実績値	令和6年度 実績値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値※
ポイント取得スポット数	—	1,354か所	1,149か所	959か所	216か所
アプリ登録ユーザ数	10,000人	12,971人	9,295人	4,193人	2,287人
環境行動回数	—	503,834回	336,584回	157,506回	742回
CO ₂ 削減量	740t-CO ₂	約825.7t-CO ₂	約648.2t-CO ₂	約258.9t-CO ₂	約4.9t-CO ₂
ごみ削減量	75t	約50.2t	約46.2t	約28.3t	約0.4t

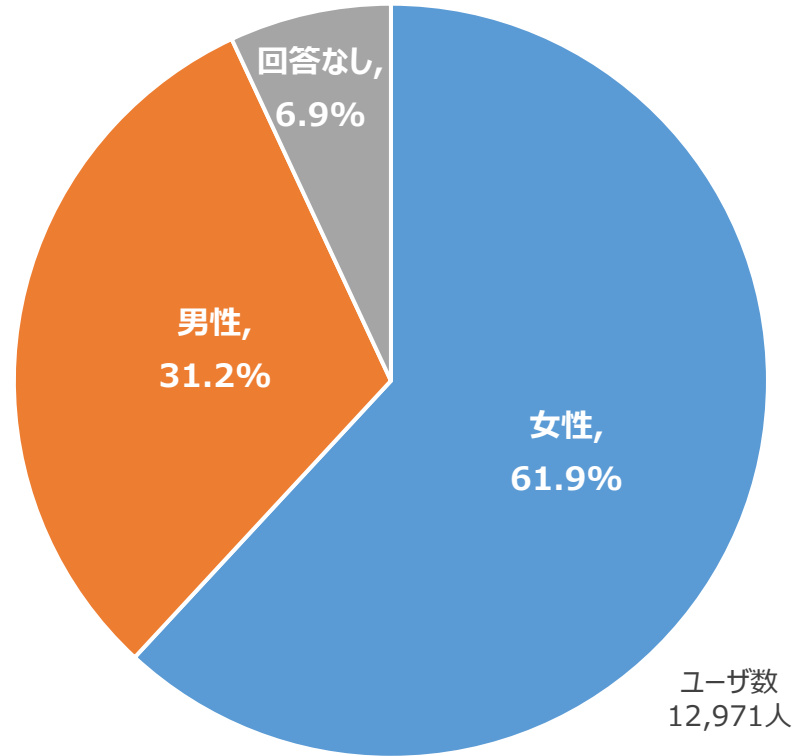
※令和4年度は、令和5年度以降とは異なる仕様のアプリ等を利用して事業を実施した。以降のスライドでは、令和5年度から令和7年度までの結果等について示す。

- ・市内企業等への積極的な働きかけにより**ポイント取得スポット数**が年度ごとに増加し、それに伴い**アプリ登録ユーザ数**が増加した。
- ・環境行動回数も増加し、**最終年度（令和7年度）のCO₂削減量は目標を達成**した。

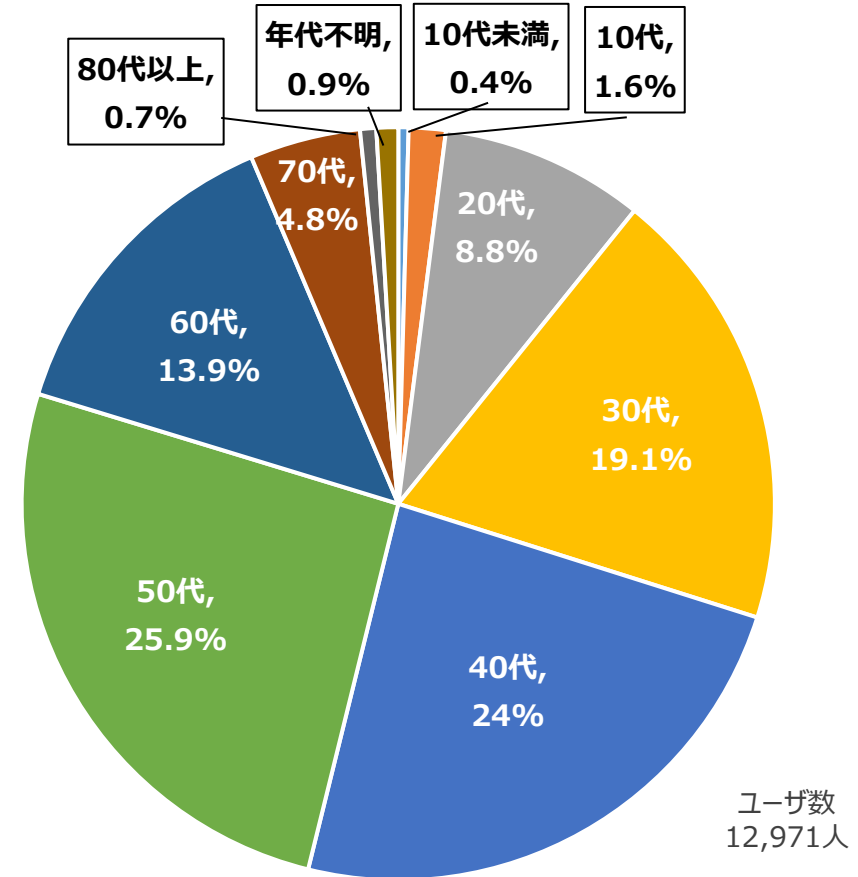
(1) 堺エコライフポイント事業の実績

【②ユーザの属性】

<性別>



<年代>

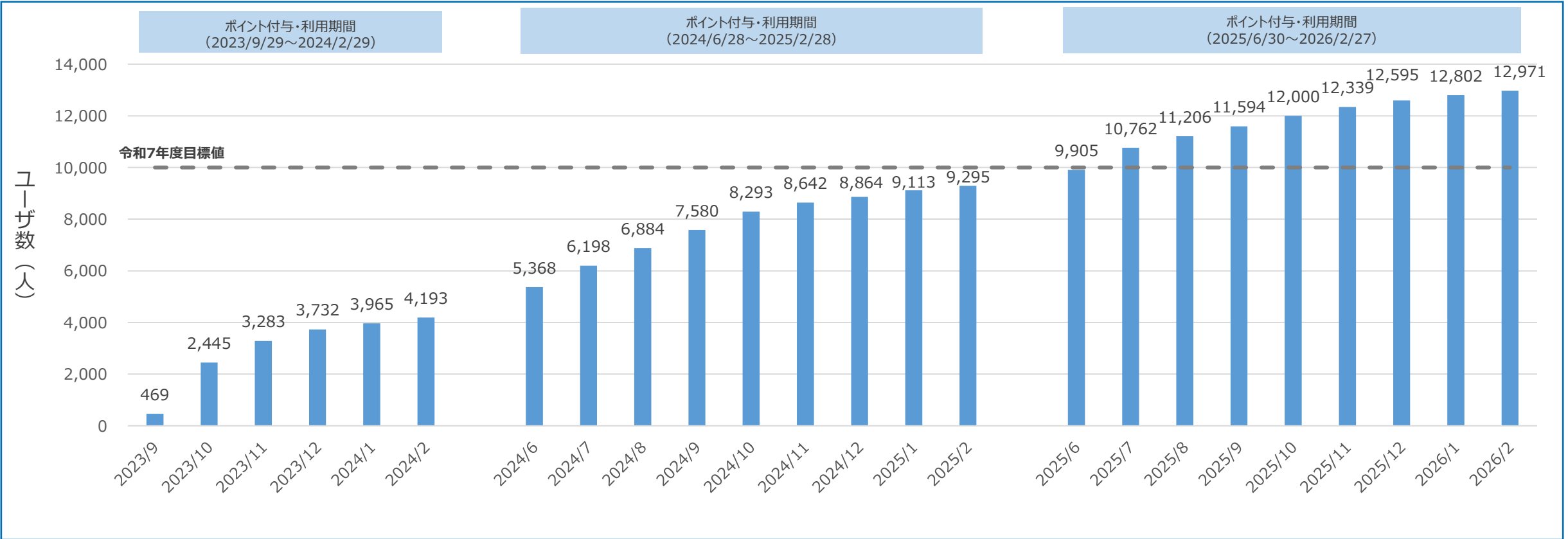


- ・ユーザの性別では**女性が男性の2倍程度**を占めている。
- ・ユーザの年代では**30～50代が7割程度とボリュームゾーンを形成**している。

※ユーザ属性の傾向は令和5～7年度で大きく変化なし

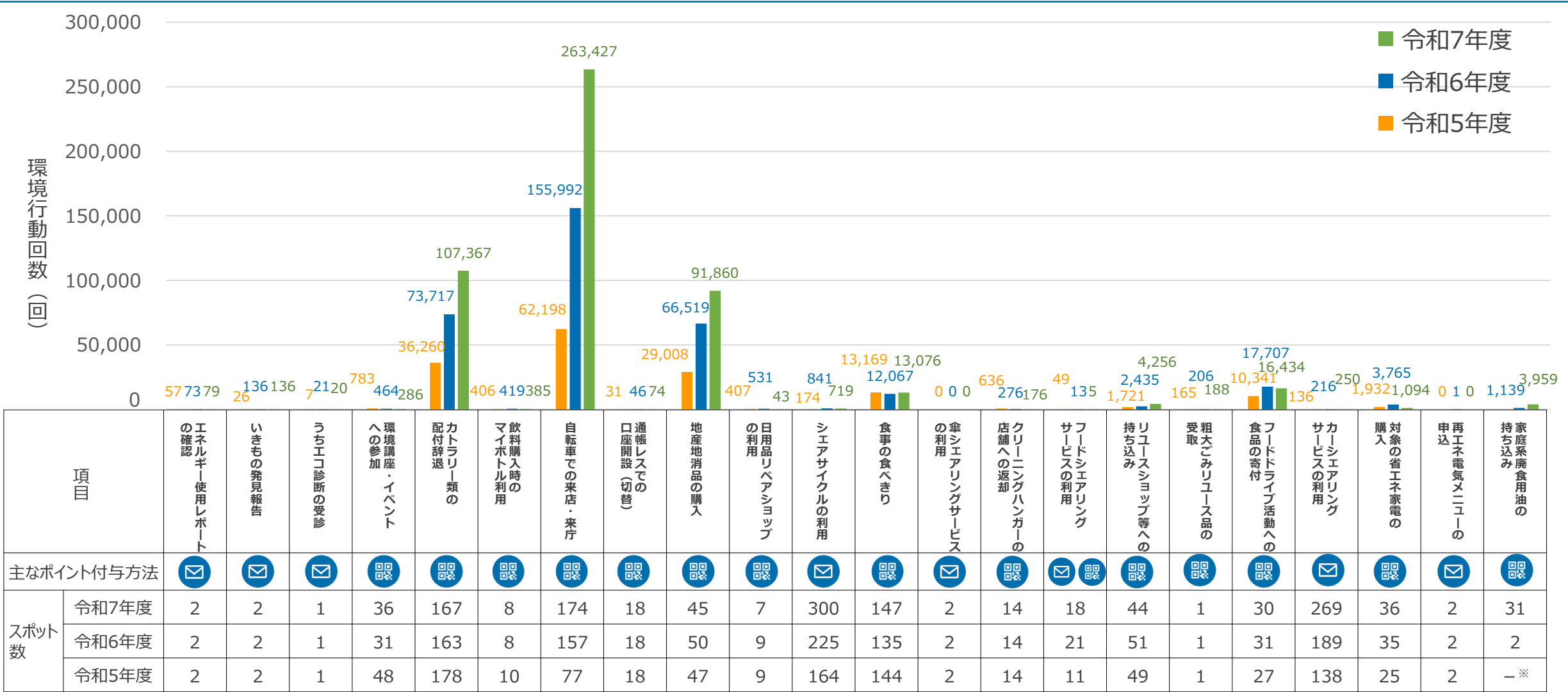
(1) 堺エコライフポイント事業の実績

【③ユーザ数の推移】



・ユーザ数は事業開始後から順調に増え続け、**最終年度（令和7年度）の目標を達成した。**

(1) 堺エコライフポイント事業の実績
【④環境行動ごとの行動回数】

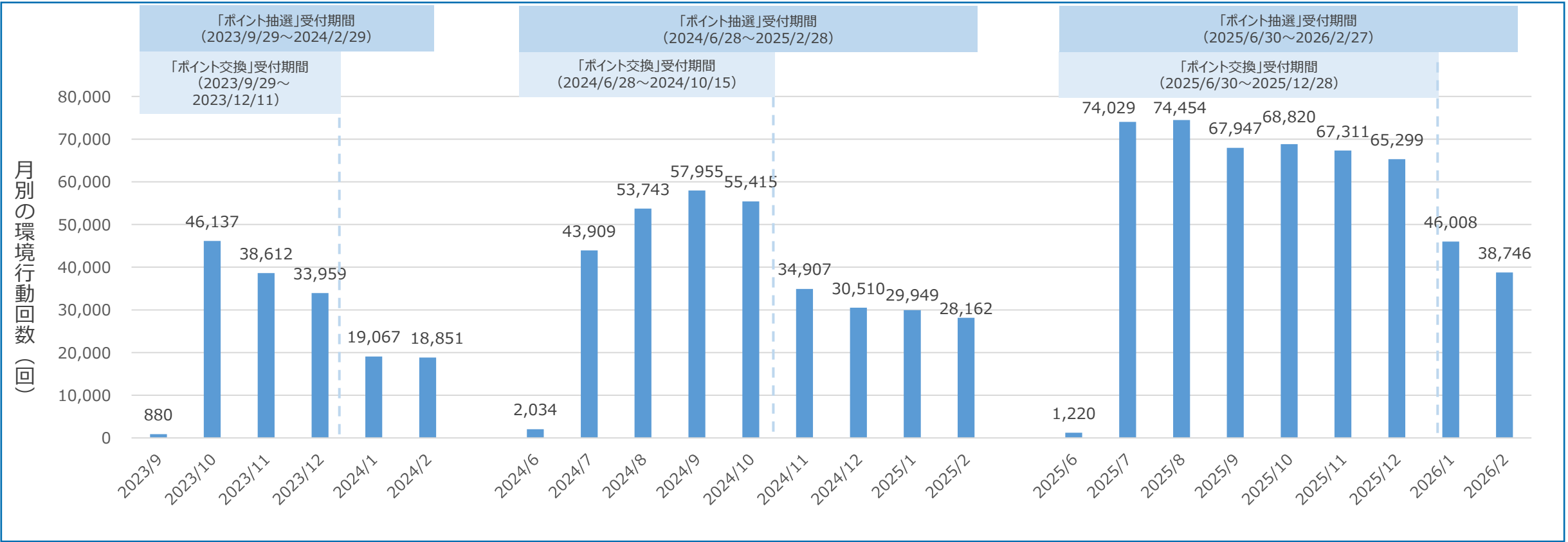


※「家庭系廃食用油の持ち込み」は令和6年11月から開始

・「自転車での来店・来庁」、「カトラリー類の配付辞退」、「地産地消品の購入」等、**日常生活の中で実践しやすい行動の回数が多かった。**
・令和5年度から令和7年度にかけて、行動回数が減少した環境行動もあるものの、**全体としては行動回数が大きく増加した。**

(2) 堺エコライフポイント事業による行動変容効果

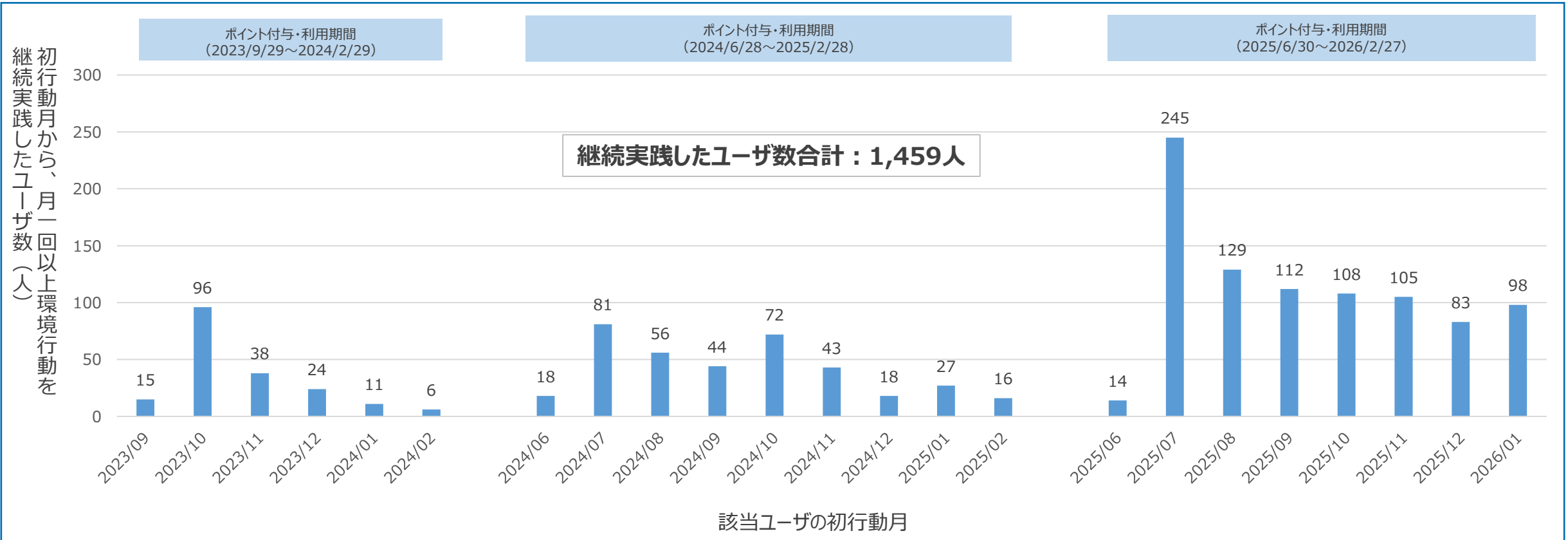
【①環境行動回数の推移】



- ・ユーザ数の増加に比例して行動回数も増加傾向を示した。
- ・「ポイント交換（電子マネー等への交換）」受付期間中は行動回数が非常に多かった。
- ・ポイント交換終了後は行動回数の減少が一定見られるものの、継続的な行動の実践も確認できた。

(2) 堺エコライフポイント事業による行動変容効果 【②環境行動実践の継続性】

(以降のスライドでは、特に断りがない限り、令和5年度から令和7年度までの結果をまとめて集計した値を使用しています。)



- ・初行動月から事業終了月にかけて、登録ユーザ12,971人のうち、**1,459人（11.2%）**が月1回以上継続して環境行動を実践していた。
- ・令和5年度、令和6年度、令和7年度のポイント付与・利用期間は約5か月、8か月、8か月であり、それぞれの年度の事業期間や複数年度の事業期間中、継続して環境行動を実践していたユーザも多いことが確認できた。

(2) 堺エコライフポイント事業による行動変容効果
【③環境行動実践有無の変化（スタートアンケート回答ありユーザ）】

アプリ利用開始時の環境行動実践度合い (スタートアンケート(※) 回答結果)	スタートアンケート回答ユーザの アプリにおける環境行動実践状況			
	計 ユーザ数 (人)	アプリ開始後 実践のなかった ユーザ数 (人)	アプリ開始後 実践のあった ユーザ数 (人)	実践率 (%)
普段から実践あり	5,881	1,119	4,762	81.0%
(「日常的に実践している」)	2,211	409	1,802	81.5%
(「ときどき実践している」)	3,670	710	2,960	80.7%
普段は実践なし	1,295	305	990	76.4%
(「関心はあるが、あまり実践はしていない」)	1,189	284	905	76.1%
(「まったく実践していない」)	106	21	85	80.2%
その他	7	4	3	42.9%
計	7,183	1,428	5,755	80.1%

※スタートアンケートは、各年度の事業開始時から全ユーザを対象に実施しており、アプリの利用状況や環境行動実践度合い等についての設問を設定している。

・アプリ利用開始時に普段は環境行動を実践していないと回答したユーザ1,295人のうち、**990人（76.4%）**が行動を実践していた。

(2) 堺エコライフポイント事業による行動変容効果

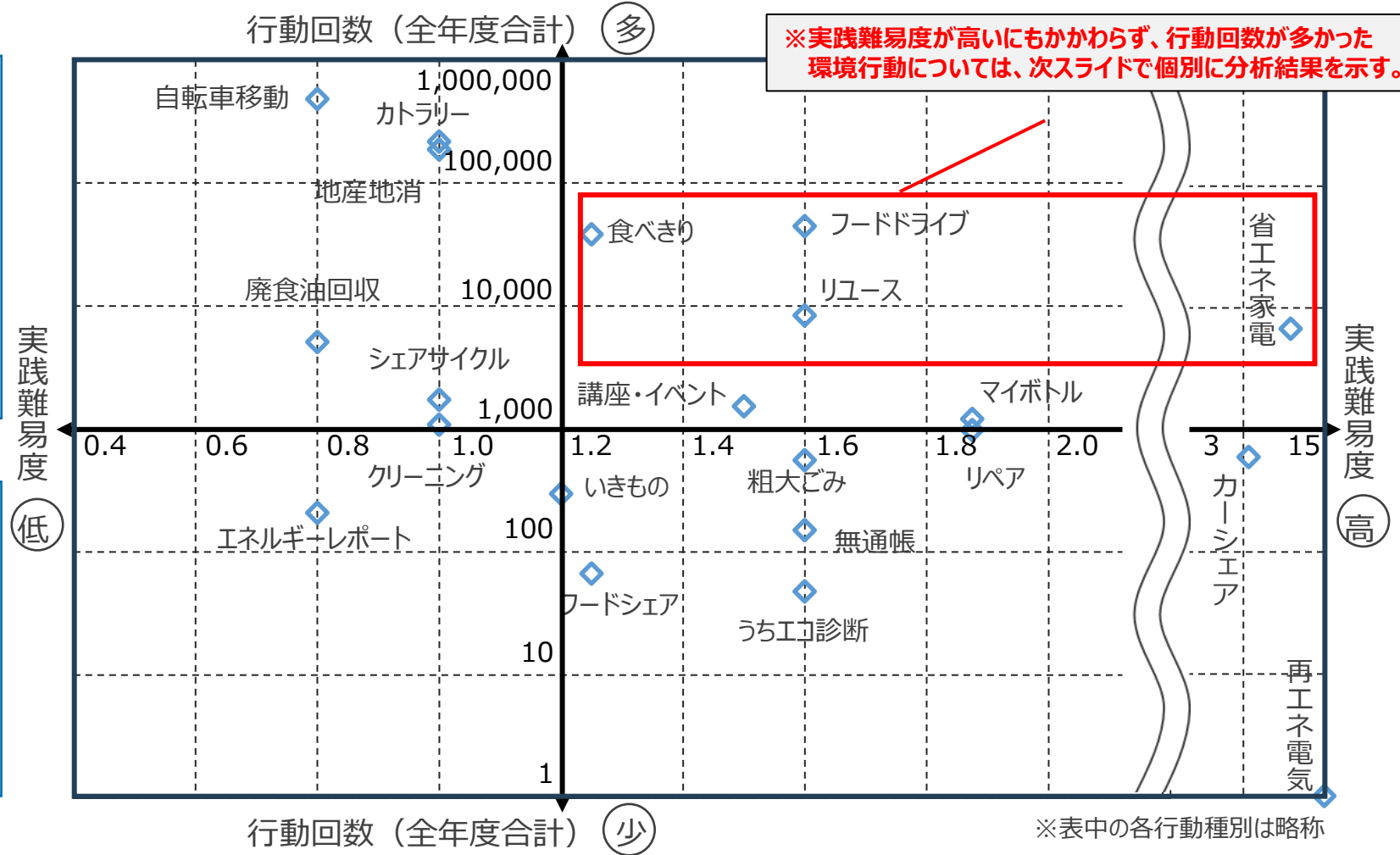
【④環境行動回数と実践難易度の関係（環境行動別）】

整理目的

- 各行動種別を、「実践難易度」と「行動回数」の2軸で分類し、マトリクス図にプロットし、行動変容の状況を整理
- ＜図の見方＞
- 行動回数が多いほど、ユーザの環境行動の実践につながっており、実践難易度が高いほど、ユーザの環境行動実践へのハードルが高い。

※ 実践難易度の考え方

- 実践難易度については、環境行動実践の難しさにつながる「金銭負担」と「作業負担」を段階分けし、それらを掛け合わせて設定。
- なお、「金銭負担」と「作業負担」の段階分けは本事業における各環境行動のポイント数設定時に定めたものを用いている。



・行動実践が難しいもののうち、特に「フードドライブ活動への食品の寄付」、「食事の食べきり」、「対象の省エネ家電の購入」、「リユースショップ等への持ち込み」は行動回数が多い。

(3) 環境行動ごとの分析結果

分析結果

フードドライブ活動への食品の寄付

行動の多い属性	40代～50代の女性、17時台～18時台（行動ユーザ数1,826人/登録ユーザ数12,971人）
行動の多いスポット	スーパー等の店舗

食事の食べきり

行動の多い属性	30代～50代、12時台、土曜日・日曜日（行動ユーザ数4,595人/12,971人）
行動の多いスポット	主要駅付近・ショッピングモール・大通り沿いの店舗

対象の省エネ家電の購入

行動の多い属性	20代～50代（※）、10時台～13時台、土曜日・日曜日（行動ユーザ数956人/12,971人）
行動の多いスポット	ショッピングモールの店舗

※家族等のグループで行動について判断し代表者がポイントを取得しているケースも考えられるため、データからは行動を実践した個人の属性評価はできていない可能性がある。

リユースショップ等への持ち込み

行動の多い属性	30代～60代、10時台～18時台（行動ユーザ数1,044人/12,971人）
行動の多いスポット	ショッピングモール・百貨店